

体協たかやま

第61号
(一財)高山市体育協会
広報委員会

第65回飛騨地区体育大会



軟式野球 壮年決勝



総合開会式 選手宣誓



バスケットボール女子



ソフトテニス

高齢化社会と言われて既に久しいですが、平均寿命は男性八十歳、女性八十六歳、誰も生涯現役でいたいのですが現実には中々そうはいかなく、健康寿命は男性七十一歳、女性七十四歳、ギャップが男性九歳、女性十二歳もあります。そこでこの健康



スポーツを愛して

生涯現役を貫こう

(一財)高山市体育協会
会長 和仁 紀男

寿命を延ばし、生涯現役を貫くため、体協の立場で考えたいと思います。

まずは気持の持ち方を変えましょう。それはスポーツを自分の仕事の一部と捉え、意識的にスポーツを日常生活の中に組み込む事です。スポーツを続けることにより、足腰を鍛え、仲間を造り、対話も弾み、脳も活性化します。高齢者にとって「きょういく」と「きょうよう」が必要と言われています。今更と思われませんが、「きょういく」と「きょうよう」とは「今日行くところがある」「きょうよう」とは「今日用事がある」の例えです。スポーツは中高年になってから始めるのではなく、出来れば小学生の頃から始めることに越したことはありません。

私の持論は、小学生は「勉強とスポーツ少年団活動の両立」中学生・高校生は「勉強と部活動の両立」そして社会人になっても、引続き「仕事とスポーツの両立」をお薦めします。(実は社会人になった途端スポーツを辞める人がとても多いのです。ここが問題です。)一つのスポーツに拘りを持って永く付き合うことが大切です。

就職は出来れば地元就職をお

薦めます。地元の方がじつくりスポーツとの両立が成り立つと思うからです。企業の皆様も企業努力されまして、是非、地元採用を増やして頂きたいと思っております。若者の地元就職は地元にとっても何物にも代えがたい貴重な宝物です。

ところで部活動には顧問の先生方が大変がんばっておられますが、社会人の協力が加われば鬼に金棒、なかでも第一線を退いた中高年の皆様には時間的なゆとりがありますので、是非、コーチ役を担って頂きたいと思っております。経験豊かな先輩がコーチ役に加わることで、強固なチームが生まれるからです。私も六十九歳から暫く中学校部活動のコーチに加わったことがありましたが、とてもやりがいがあり、一生の思い出となりました。

体育協会加盟二十四団体それぞれが、小学生・中学生・高校生から社会人に至るまでピラミッド型の組織体形で結ばれることにより地元から有望選手が生まれ、やがて国体選手、オリンピック選手輩出も夢ではありません。一人一人がスポーツを愛し、生涯現役を貫き、健康で明るい市民生活が送れますようその旗振りになりたいと思っております。

栄光・快勝・健闘の記録

女子レスリングの全国大会

ジュニアクイーンカップで2人が3位入賞

4月2日に東京の駒沢オリンピック公園総合運動場で行われた同大会に、小学1.2年21キロ級の井田彩夏さん(北小2年)とカデット(平成12.13年生まれ)46キロ級の小坂歩未さん(高山西高2年)が、ともに3位入賞した。

県少年空手道大会で2連覇

8月の全国大会に出場

5月5日に岐阜市で開かれた、同大会小学4年女子の部で、山王小学校4年の岩堤あす香さんが優勝し、8月に東京で行われた全国大会に出場した。

剣道の県健康福祉交流大会で優勝

9月の全国大会(ねんりんピック)に出場

県の剣道連盟が5月に行った同大会の個人戦3部に出場した、櫻本幸二さん(総和町2・69才)が優勝し、9月に秋田県で開催のねんりんピックに出場される。

ハンドボールの日本女子U-20代表に

高山高校出身の下屋さんが選ばれる

飛騨高山高校出身で現在東海大1年の下屋奏香さんが日本女子U-20代表に選ばれ、6月の東アジア選手権(岩手県)7月のアジア女子ジュニア選手権(香港)に出場した。

全国小学生ハンドボール大会に

高山ミニハンドボールクラブ女子が出場

6月の県予選で優勝し8月に京都であった全国大会に出場した。

フットサルの国際大会「タイ・インターナショナルカップU-12」に高山から二人出場

7月にタイで行われた同大会に、東海選抜チームの一員として、高山東サッカースポーツ少年団所属の向平真沙斗くん(丹生川小6年)と中谷宗嗣くん(東小5年)が出場した。

ハンドボールの女子ユースアジア選手権

日本代表に、飛騨高山高校の阿礼さん出場

8月にインドネシアで行われた同大会に高山高校2年の阿礼梨那さんが日本代表U-18に選ばれ出場した。

全国高校総体出場

8月に東北各地であった、全国高校総体(インターハイ)に高山から次の選手が出場した。



全国高校総体出場者激励会

【アーチェリー】

野口諒太郎(高山西3年)【陸上競技】

永田一真(飛騨高山3年)朝熊剛康(斐太高3年)

山下凛(同2年)【バドミントン】

砂田晃輔(高山西3年)森腰永遠(同2年)【剣道】

高山西高校=内村竜基、奥平虎之介、水小瀬建彦、江尾琉都、伊崎理倫、船木康佑、澤田健太(以上3年)

【レスリング】谷口空良(高山西3年)小坂歩未(同2年)

三木翔永、岩智基(以上同1年)【ハンドボール】

高山西高校男子=池田賢悠、猪岡友和、岡崎海斗、大貫卓斗、谷川泉水、三枝拓朗(以上3年)

青木椋雅、西平陵矢、飼馬丈太郎、小嶋大誠、瀬戸龍成、今井堅(以上2年)

片岡瞭、谷前知優(以上1年)飛騨高山高校

女子=田中智祐里、大島莉子、小田唯加、田中佑歩、(以

高山市卓球協会

会長 柴田 政勝



我が協会は昭和二十一年四月に高山卓球連盟として産声をあげました。昭和二十三年に、高山の卓球の普及には大きな大会が必要と考え、いろいろな方のお力添えをいただき、第一回中部日本卓球選手権大会が開催されました。場所は西小学校の講堂であり、今年で六十回となり益々盛大になっております。第一回大会が高山市で開催された事は、大変意義深い出来事と考えます。

昭和四十二年に飛騨体育館が完成し、練習環境の充実が図られ、大きな大会の誘致が出来る事になり第二十二回大会が二回の高山開催となりました。大

きな大会の誘致により、レベルの高いプレーを生で見る事が出来、自分の目標が具体的にたったり、指導者にとつて選手などの達成レベルが確認できるなど、多大な貢献をしています。そして、卓球の普及に関して忘れてはならないのが世界チャンピオンや日本チャンピオンなどを招聘しての卓球教室の開催です。今まで何度か開催するのと選手や指導者の時代の変化に対応してきました。今後開催してレベルアップの一助になればと考えております。

昨年のリオのオリンピックでの男女の活躍が卓球ブームを招き、若い選手の台頭もあり東京オリンピックが大いに期待できます。

ここで卓球の変遷について少し説明させていただきます。一

番の変化は、ボールの大きさが直径38ミリから40ミリになったことです。スピードが落ちたことでラリーが続くようになり、考えた結果です。次にあげられるのは、昨年ボールの材質がセルロイドからプラスチックへと変わったことです。他にもいろいろありますが、最後にひとつ紹介しますが、サーブに関するのですが、16センチ以上上げなければならなくなりました。

高山市卓球協会では今年度十一の大会を開催し、小・中・高・一般の皆さんに活躍の場を提供いたします。選手のレベルアップを目指して、大会の開催や技術指導、スポーツ少年団の育成などに協力に取り組んでおりま

上3年)阿礼梨那、野中菜月、橋戸萌々香、高石紗良、浦部春菜、山之上綾美、井上未由里、後藤藤花、清水七菜(以上2年)政井瑞月、下村真穂(以上1年)

全国高校定時制通信制体育大会出場

【バドミントン】坂下利玖、清水岳人、大野伸一郎(以上飛騨高山定時制4年)【卓球】野中裕太(飛騨高山通信制4年)

全国中学校総合体育大会出場

8月に九州であった同大会に出場した。【ハンドボール】東山中学校男子=橋戸優輝、中川太佳登、光賀晴希、杉原悠莉、尾崎綾人、泉直登、垣内純援(以上3年)平野凌斗、横田怜、東田龍来、橋本大河、圓山泰生、大溝郁也、谷幸樹(以上2年)下田陽大(1年)【陸上競技】走幅跳=仲村颯祐(中山3年)400 杭=島尻裕太郎(東山3年)



全国中学総体出場者激励会

我が協会の大先輩 (26)

月 日	事 業 名	会 場 等
7 月 10 日(日)	第 64 回飛騨地区体育大会	総合開会式ビッグアリーナ 他飛騨地区一円
7 月 23 日(土)	第 33 回市民登山 (市民登山クラブ)	乗鞍岳
9 月 18 日(日)	第 9 回県民スポーツ大会 (スキー競技 2 月)	中濃地区 (スキー競技 飛騨高山スキー場)
10 月 4 日(日)	市民スポーツフェスティバル	ビッグアリーナ他
10 月 23 日(日)	第 12 回市民駅伝大会	宮中学校を発着中継点に一之宮町内
11 月 23 日(水)	第 40 回市民健康マラソン	中山公園陸上競技場を発着点に下林・山田町内
1 月 21 日(木)	体育協会創立 70 周年記念式典	高山グリーンホテル
年間を通して	◆市指定体育施設の管理(14施設) ◆トレーニングルーム利用者講習会・各種スポーツ教室の開催 (クライミング・弓道・アーチェリー・テニス・ソフトバレー・卓球・バドミントン) ◆各種委員会の開催(総務・財務・事業・強化・広報) ◆「体協たかやま」の発行(年3回) ◆理事会及び評議員会の開催 ◆各加盟団体との共催事業・70周年記念事業の開催 ◆市民体育大会(バドミントン・弓道) ◆ビッグアリーナ全館開放事業 5月～3月の毎月第3木曜日	

科 目	合 計	一般会計	特別会計	備 考
1. 収入の部				
基本財産運用収入	338,430	338,430	0	基本財産定期預金利息
会費収入	4,028,000	4,028,000	0	会員会費、賛助会費、特別会費
70 周年記念事業収入	2,326,500	2,326,500	0	記念誌、記念式典会費
自主事業収入	3,567,852	0	3,567,852	市民健康マラソン・市民登山・駅伝大会参加料等
指定管理等収入	88,063,530	0	88,063,530	指定管理料、体育施設使用料等
雑収入	287,434	250,098	37,336	受取利息、飛騨体協事務収入、雑入
当期収入合計	98,611,746	6,943,028	91,668,718	
2. 支出の部				
管理費	709,492	709,492	0	会議費、旅費交通費、通信運搬費等
事業費	3,107,177	3,107,177	0	県体派遣費、地区体派遣費、強化費等
70 周年記念事業費	5,177,499	5,177,499	0	冠大会記念品、記念誌、記念式典費
事業運営費	2,574,303	0	2,574,303	市民健康マラソン費、市民登山、駅伝大会等
指定管理事業費	79,562,979	0	79,562,979	職員人件費、事務費、管理費等
租税公課	4,788,300	0	4,788,300	法人税、消費税
事業活動支出合計	95,919,750	8,994,168	86,925,582	
事業活動収支差額	2,691,996	△2,051,140	4,743,136	
3. 投資活動収支の部				
投資活動収入				
特定資産取崩収入	3,268,084	3,268,084	0	
投資活動収支差額	3,268,084	3,268,084	0	
当期収支差額	5,960,080	1216,944	4,743,136	
前期繰越収支差額	29,775,102	△4,308,776	34, 083,878	
次期繰越収支差額	35,735,182	△3,091,832	38,827,014	

野球場 ベンチ改修

第2回实践登山 高屹山

第1回の活動、全体オリエンテーション